

秋吉台 ……緑の草原を維持するため……

秋吉台のススキの見頃も終わりにになりました。今年はススキが幾分少ないように感じましたが、それでも夕陽に映える光景はきれいでした。

草原を取り巻く周囲では、来春の山焼きのための防火帯を作る「火道切り」の作業が始まりました。台麓の地区にそれぞれ受け持ち分担がありますが、高齢化が進むなか、急勾配の斜面での草刈り作業は容易ではありません。

それでも緑の草原を維持するためには欠かせない大切な作業なのです。



花も実もある秋吉台

思わずつまんで食べてみる!?

ナンバンハコベ。夏に愛嬌のあるかわいい花を咲かせます。その後、緑色の球形をした果実が付きます。そして、秋深まるころ、艶のある黒色へと変わっていきます。タネははぼ粉末状のものが詰まっています。

フユイチゴ。花のころはあまり目立ちませんが、赤いきれいな果実が熟れると、つい目が止まります。甘酸っぱくて食べることができます。たくさん集めてホワイトリカーにつけ込んで「フユイチゴ酒」を作ったことがあります。

ハンショウズル。他にも似ているセンニンソウなどがありますが、それらに比べると、見かけることは少ないです。同じようなタネなのですが、発芽率が悪いのでしょうか。



学習会「クリスマスリース作り」(12月12日)

クリスマスリース作りを行いました。これはクリスマスのために毎年この時期に開催している恒例の行事です。使用する材料は、主に自然にある木の実や数か月かけて作ったドライフラワーなどです。はじめにアケビなどのツルを丸く巻いて形を作ります。最初は戸惑っていた参加者もクルクルとうまく巻けるようになりました。それに飾りを付けていきます。用意した材料を、思いがけない使い方をするのを見て、なるほどと感心させられる場面もありました。一つ一つ心を込めて仕上げた作品と一緒に記念撮影をして、それぞれ家庭へ持って帰りました。



ヒイラギ(柊) 歳をとると まーるく なる???

所用があつて近くのお宅を訪ねました。その庭に白くて小さな花がたくさん咲いている樹木がありました。一見するとギンモクセイに似ていましたが、よく見るとそうではありません。なんの花か尋ねるとヒイラギ(柊)とのこと。しかし、ヒイラギなら葉の縁にチクチクして痛いトゲがあるはずなのに、これにはありません。そこで、庭の主の言うことには「ヒイラギも人間とっしょ。歳をとるとカドが取れてまーるくなる。」



門松設置

..... 新年を迎える

秋吉台エコ・ミュージアムの職員の手で、新年を迎えるために門松をたてました。昨年と同様に竹材は近隣の方の竹林から切り出ささせていただき、その他の材料は、職員が分担してそれぞれ持ち寄りました。

皆様には今年一年お世話になりました。厚く御礼申し上げます。来年もよろしくお願いたします。佳い新年をお迎えください。



1月の行事

- 1月22日(土) 「森の昆虫教室・冬-1」
- 1月30日(日) 「森の昆虫教室・冬-2」
- 1月23日(日) 「サンショウウオの観察」

森の昆虫教室につきましては、**往復ハガキ**でご応募ください。ご応募多数の場合は抽選となります。詳しくは当館ホームページ、地域情報誌等でご確認ください。